

デジタルツール活用のメリット

デジタルツール活用の目的

新型コロナウイルス感染症の拡大により、従来の地域活動が行いにくくなり、デジタルデバインド（情報格差）が浮彫になりました。地域の集まりや活動をデジタルの力を使い、持続活性化させ、生活に取り入れるきっかけ作りや技術的支援を行うことにより、デジタルデバインドを是正する必要があります。従来の対面での集まりだけでなく、オンラインでの開催やSNSを用いた交流を行うことで、地域で取り残される人を減らすことが期待できます。

Q&A

質問1 どのように運営すればよいのでしょうか？

初めてでも運営できるように、事前準備から当日運営までの流れを記したマニュアルが用意されています。マニュアルに沿ってやってみましょう。

質問2 スマホに詳しくなくても人に操作を教えることができますか？

スマホ教室開催の流れを記したマニュアルや、スマホ教室で使える操作テキストが用意されています。まずは、自分が学ぶ気持ちで読んでみましょう。

利用環境

下記いずれかの機材とインターネット環境を準備します。



スマートフォン



タブレット



パソコン

+



インターネット

参考無料ツール

■ライン

LINE

■グーグル デュオ

Google Duo

■マイクロソフト チームス

Microsoft Teams

■ズーム

Zoom

※名称及びロゴは、LINE株式会社の登録商標です。

※名称及びロゴは、Zoomビデオコミュニケーションズの商標または登録商標です。

運営された皆様の声

オンライン認知症カフェ

- ・オンラインカフェの準備を含め意外と簡単だと思いました。実施することが難しいと思い込んでいました。
- ・オンライン会議ツールのZoomをつなぎ、参加者に体感してもらっただけでも楽しんでいただけたことが分かりました。
- ・オンラインでの認知症カフェは難しいと思っていましたが、始めてしまえば参加者にとっても楽しんでいただけました。
- ・スマホは怖いものと思っている方が多かったのですが、オンラインで繋がる事の楽しさに気づいてもらえました。
- ・参加者の負担では無いか心配でしたが、楽しんでいる姿を見てやってよかったと感じた。またやってみたい。

スマホ教室

- ・自分達だけのスマホ教室運営は不安でしたが、開催してみた後に、もう一度やってみたいと思いました。
- ・スマホ教室用のテキストが用意されていたので安心してスマホ教室を運営することができました。
- ・スマホ教室を開催することで、スマホの知識も増えるので、継続して開催していきたいと思います。

**認知症カフェ利用者が
スマホを使えるようになると
交流の場が広がります。**



**この機会にオンライン認知症カフェの
運用を検討してみませんか。**

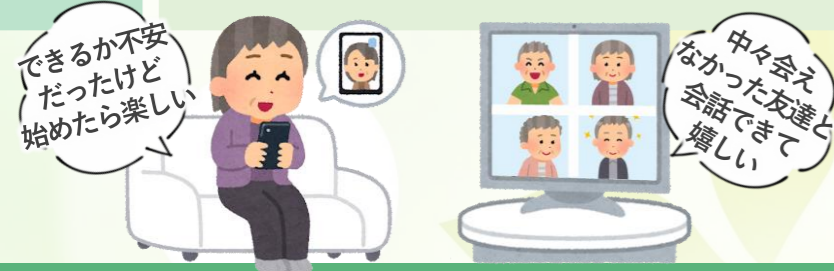
**問合せ先などの入力欄
(フリースペース)**

オンライン認知症カフェとは

認知症カフェでの活用について

現在の認知症カフェの運用を大きく変えずとも、デジタル運用を取り入れることで、スマホで離れた相手とオンラインで認知症カフェを実施できます。

- 開催事例** オンラインでの近況報告をしよう。
- メリット** オンライン会議ツールを使用するので離れていても表情がわかりますし、家にいながらでも参加してもらえます。
- 例えば** 認知症カフェに参加したいが、体調の関係で外出が難しい時でもオンラインなら認知症カフェにご参加頂けます。



オンライン認知症カフェの開催形式

完全オンライン開催型

参加者が全員オンラインで参加する形式です。参加者・運営者ともに場所に縛られることなく開催することができます。

オンライン・会場併用開催型

参加者の一部は会場、一部はオンラインで参加する形式です。参加者の都合に合わせて参加方法を決めてもらうことができます。

スマホ教室型

スマホ教室を開催することで、スマートフォンの魅力や日常で使う操作について、知ってもらう機会を認知症カフェの中で設けます。その場でオンラインで交流することを体験していただくことで、オンライン認知症カフェへの参加へとつなげることも可能です。

スマホ教室とオンライン認知症カフェを実施される運営者様に運営に必要なテキストやマニュアルをご用意しています！

スマホ教室カリキュラム例（習得内容）



オンライン認知症カフェ開催までのステップ

認知症カフェの運営形式を決めたら、下記のステップに合わせて運用します。

- STEP 1 事前準備をしましょう**
参加者のデジタル活用レベルの確認や開催形式の決定、機材やWeb会議ツールなどの必要物を手配しましょう。
- STEP 2 周知・参加者をフォローしましょう**
参加者を募集するためには広報活動が必須です。効果的な媒体で参加者を募集しましょう。
- STEP 3 オンライン認知症カフェを開催しよう**
開始前に出席確認、音声の確認、画面の確認を行いましょう。フォローが必要な人がいる場合はサポートしながら行います。慣れない方が多いのでこまめに休憩をはさみながら進行していきます。
- STEP 4 発展した使い方を実践しましょう**
日頃から行っている情報提供はSNSなどを活用してオンラインで受け取ってもらいましょう。また運営者同士でWeb会議や既に行っているオンライン認知症カフェの運用を見学してみましょう。

運用マニュアルやテキストは下記からダウンロードしてください。

**URLやQRコードなどの入力欄
(フリースペース)**

スマホ教室

参加者のスマートフォンの理解度に合わせて用意されたテキストを使いスマホ教室を実施。

- 開催事例** スマホの操作や使い方を学ぼう。
- メリット** 参加した人はスマホを使えるようになり、インターネットを使った情報を受け取ることができたり、オンラインのイベントに参加してもらえるようになります。



発展型のコミュニティ運用

オンラインを活用した合同イベントを実施してみましょう。

オンライン認知症カフェの運営に慣れてきたら、他の認知症カフェとのオンラインを活用した連携も検討してみましょう。オンラインを使うことで様々な制約がなくなります。オンラインを使った合同イベントなど、これまで想像していなかった新しい発想がでてくるかもしれません。

